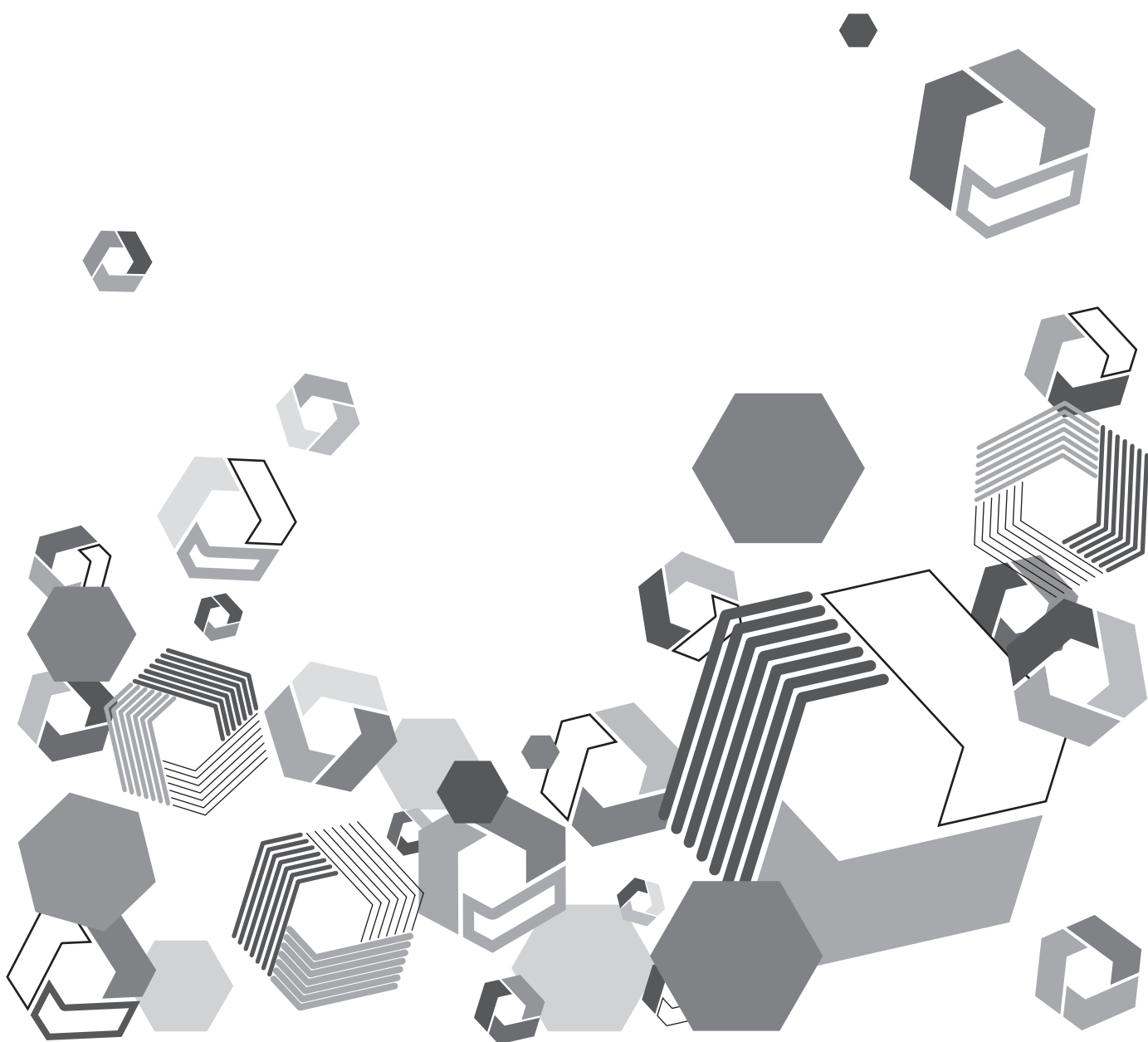


Panasonic

操作説明書

クラウド連携用アプリケーション
Streaming Player



ヘルプ

Streaming Player は、Windows 上で動作するアプリケーションソフトウェアです。
バージョンはメイン画面から確認することができます。(バージョン)
Windows パソコンでアプリケーションを動作させると、クラウドサーバーから配信されているストリームを再生できます。

[Streaming Player について](#)

[ログイン画面について](#)

[メイン画面について](#)

[ストリームを再生する](#)

[プレーヤー画面について](#)

[動作設定画面について](#)

商標について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

4G やLTE などの携帯電話回線を利用して、動画ストリームを再生する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

通信環境が悪いと、動画が正常にストリーミングできない場合があります。

説明に使用している画面は、一部、スクロールが必要な画面があります。

画面のデザインは、機能向上のため、予告なく変更する場合があります。

DVQP2746YA
W0222HM1062 -PB

Streaming Player について

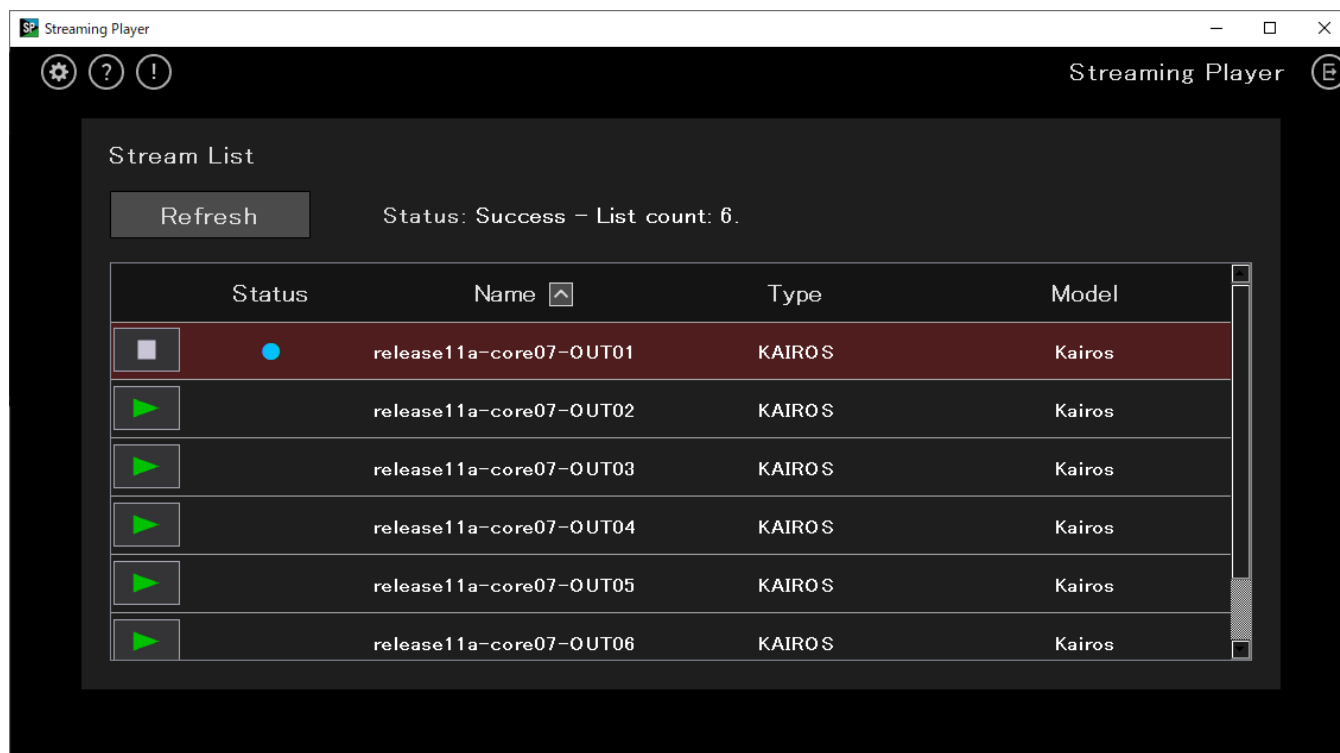
Streaming Player は、KAIROS クラウドプラットフォームのライブストリーミング映像をどこからでも確認できる映像ビューアです。

Windows パソコンでアプリケーションを動作させると、クラウドサーバーから配信されているストリームの一覧を取得します。

一覧からストリームを選択して再生したり、ストリームを MOV*形式で記録することができます。

* MOV は Apple 社が開発した動画や音声などのデータを格納するためのファイル形式です。

ストリームリストの取得 (メイン画面)



ストリームの再生 (プレーヤー画面)



> 目次へ戻る

ログイン画面について

Streaming Player を利用するには、事前にKAIROS クラウドプラットフォームへのログインが必要です。

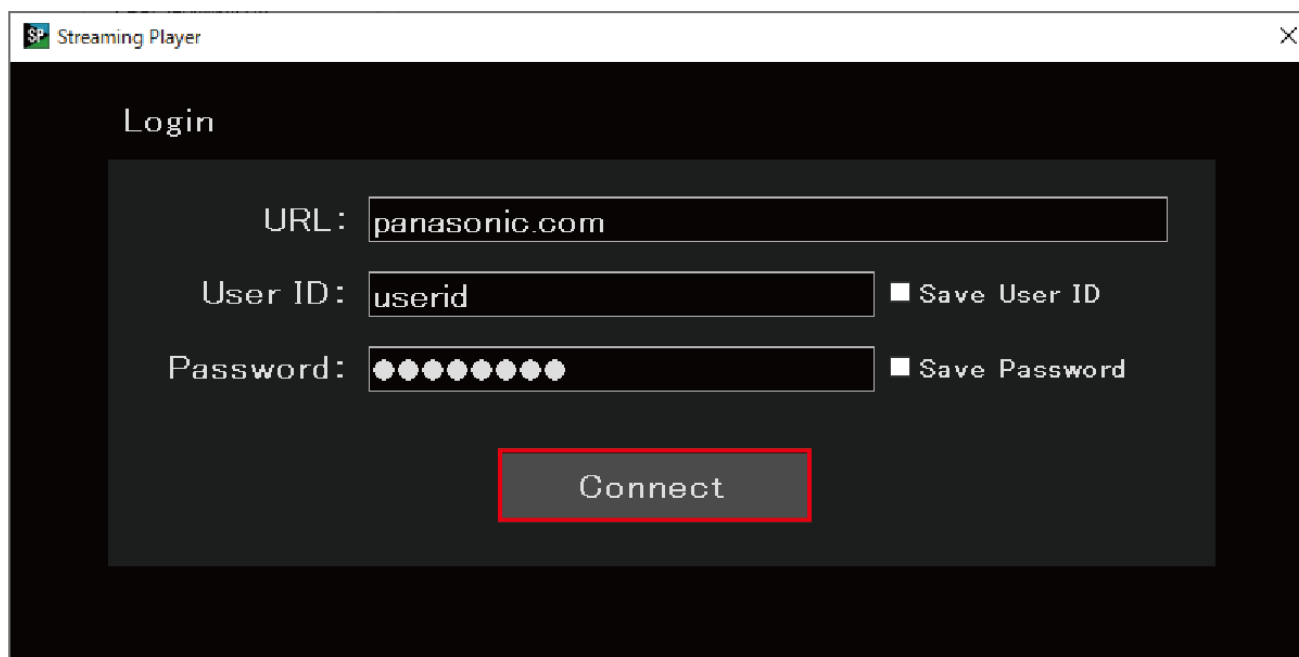
Streaming Player を起動するとログイン画面が表示されますので、次の手順でログイン操作を行ってください。

1. [URL] 、 [User ID] 、 [Password] を入力する

The screenshot shows the 'Login' window of the 'Streaming Player'. The window has a title bar with the text 'Streaming Player' and a close button (X). The main content area is titled 'Login'. It contains three input fields: 'URL:', 'User ID:', and 'Password:'. Each field is highlighted with a red box and a red circle with a number (1, 2, 3) pointing to it. To the right of the 'User ID' and 'Password' fields are checkboxes labeled 'Save User ID' and 'Save Password' respectively. Below the input fields is a 'Connect' button.

- ① [URL] : KAIROSクラウドプラットフォームのURLを設定します。
 - 入力したURLは自動的に保存され、次回起動時に入力済み状態になります。
- ② [User ID] : 上記URL へのログインIDを設定します。（半角英小文字数字、最大24文字）
不明な場合はシステム管理者へお問い合わせください。
 - [Save User ID] にチェックを入れると、暗号化した状態で保存され、次回起動時に入力済み状態になります。
- ③ [Password] : ログインユーザーのパスワードを設定します。（半角英大文字小文字数字、最大24文字）
 - [Save Password] にチェックを入れると、暗号化した状態で保存され、次回起動時に入力済み状態になります。

2. [Connect] をクリックする

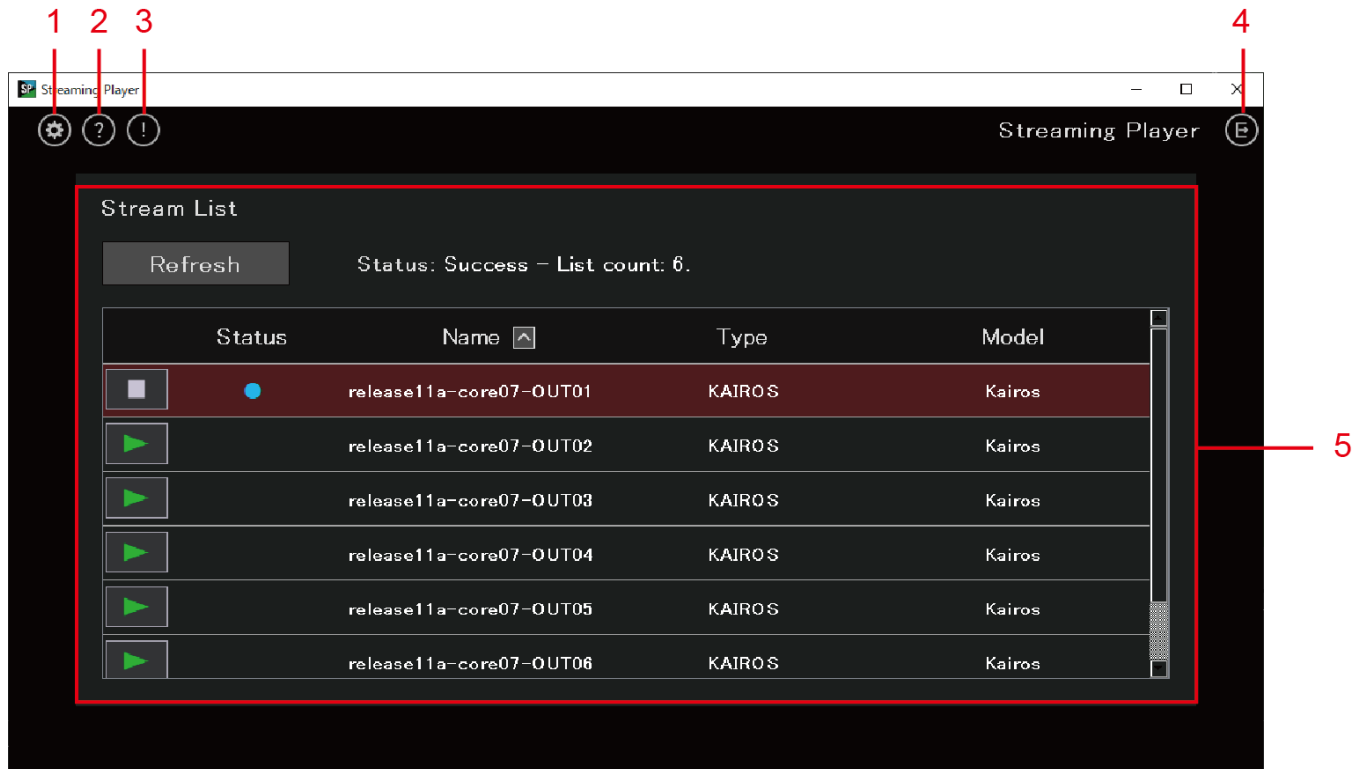


Stream List の取得が完了すると、メイン画面が表示されます。（[メイン画面](#)）

➤ [目次へ戻る](#)

メイン画面について

KAIROS クラウドプラットフォームへのログインが完了するとメイン画面が表示されます。



1. 設定ボタン (⚙)

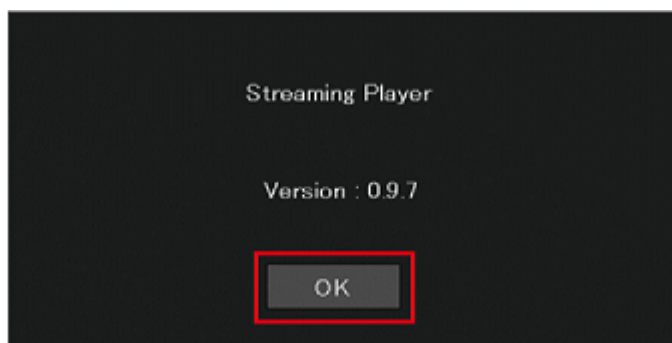
- 動作設定画面を表示します。(動作設定画面)

2. ヘルプボタン (❓)

- ブラウザが起動し、操作説明書を表示します。

3. バージョンボタン (❗)

- Streaming Player のバージョン情報を表示します。
バージョン情報表示画面で [OK] をクリックすると、メイン画面に戻ります。





4. ログアウトボタン (Ⓔ)

- すべてのストリーミング再生を停止したあと、メイン画面を閉じてログイン画面を表示します。(ログイン画面)

5. Stream List

- 再生可能なストリームのリストを表示します。

- Refresh ボタン
Stream List を更新します。
- Status
Stream List の取得状況を表示します。
- Stream List 表示部

 /  : ストリームの再生を開始/停止します。 ([ストリームを再生する](#))
 Status : ストリームの再生状態を表示します。
 ○ (白色) : 再生停止中
 ■ (青色) : 再生中 (MOV記録なし)
 ● (赤色) : 再生中 (MOV記録中)
 Name : ニックネームを表示します。
 Type : タイプを表示します。
 Model : 型番を表示します。

- Name、Type、Model は、KAIROS クラウドプラットフォームの [STREAM HUB] で設定された内容に基づき表示されます。
 詳しくは、KAIROSクラウドプラットフォームの操作説明書を参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download

お知らせ

- 表示されるストリームの数は最大50件です。
- Stream List の各タイトル部 (Status、Name、Type、Model) をクリックすると、ストリームの並び替えができます。
 クリックするたびに、昇順/降順が切り替わります。(初期状態は Name の昇順表示)

[目次へ戻る](#)

ストリームを再生する

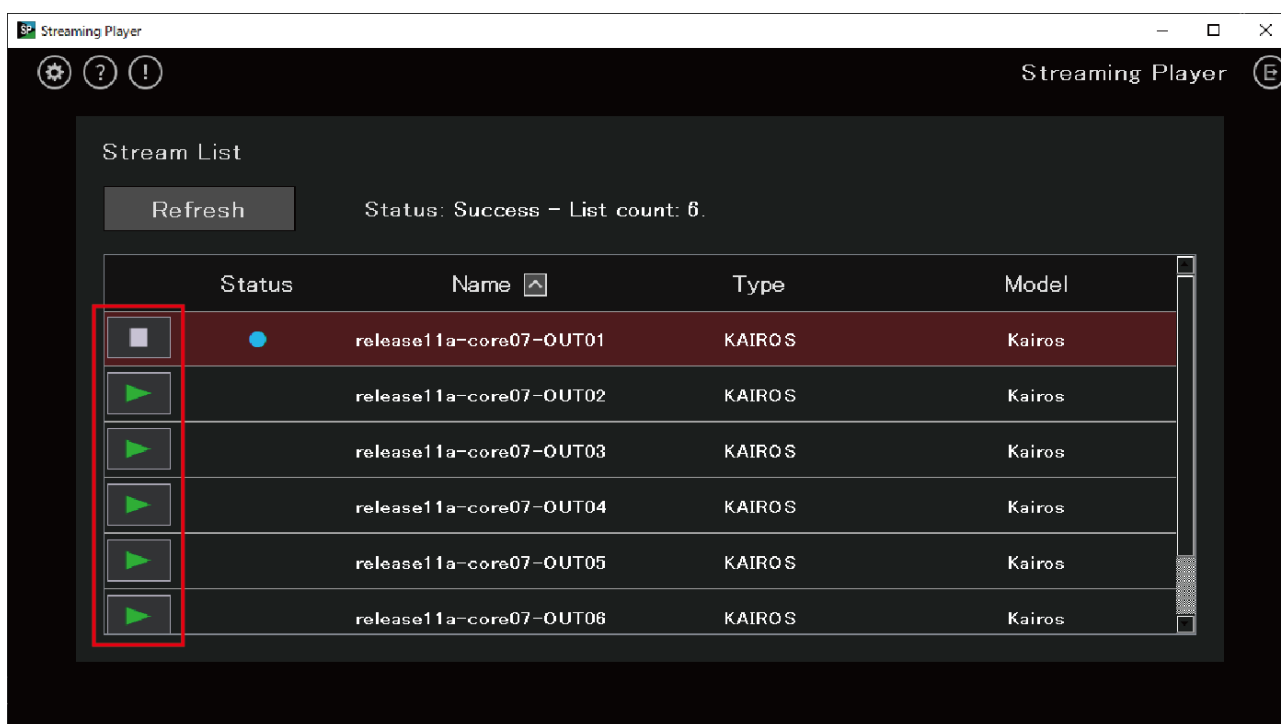
Stream List からストリームを再生する方法は2種類あります。

注意点

- ストリーミング再生中にKAIROSクラウド、またはカメラ側でストリーム設定の変更（解像度、フレームレート、オーディオ設定などの変更）が行われた場合は、ストリーミング再生を一度停止したあとに再生をやり直してください。
- 再生操作を行っても再生されない場合、お使いのパソコンで動作しているセキュリティソフトの制限により、クラウドサーバーとの通信に失敗している可能性があります。
セキュリティソフトを無効化した後、再生操作を試してください。

即時再生

1. Stream Listから再生したいストリームの をクリックする

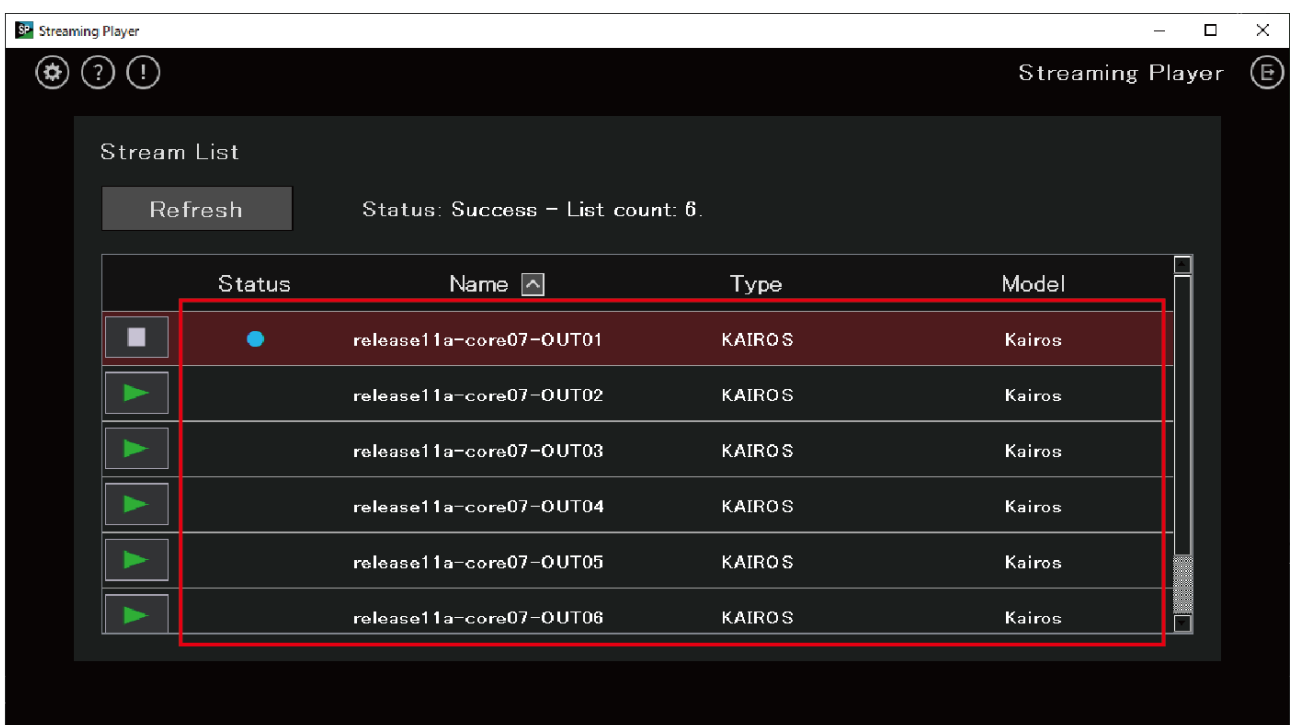


選択したストリームの再生が始まります。

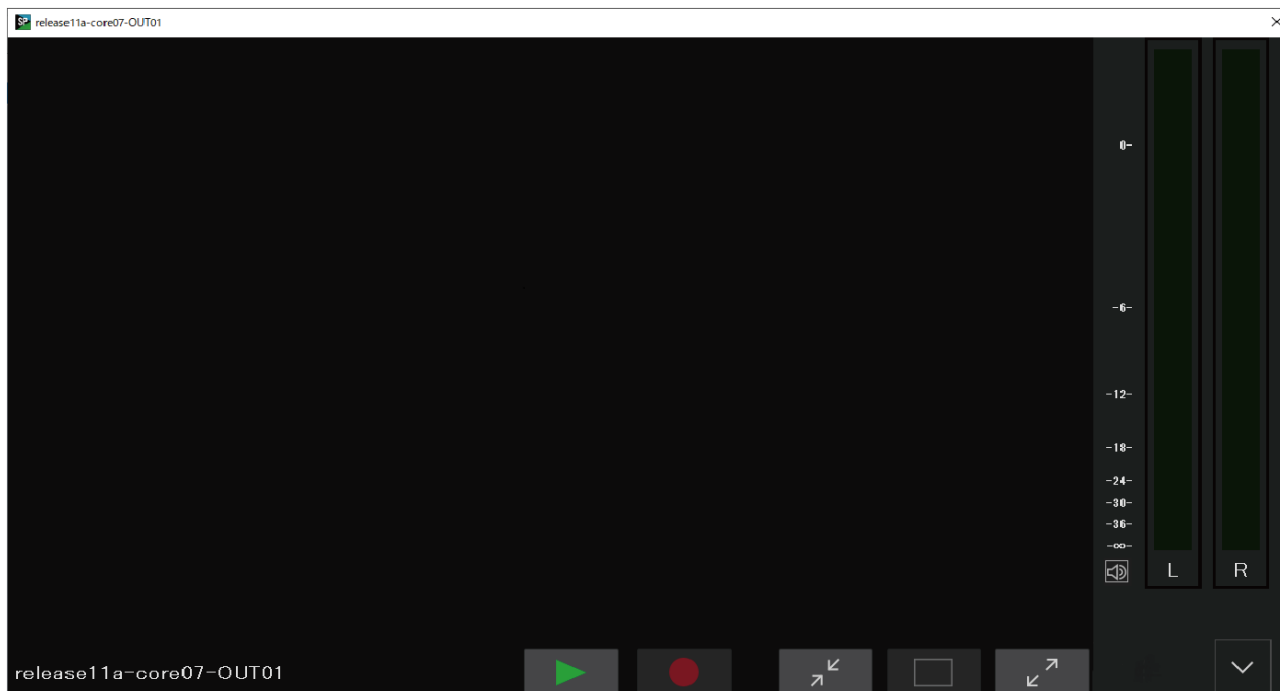


再生待機状態を経て再生

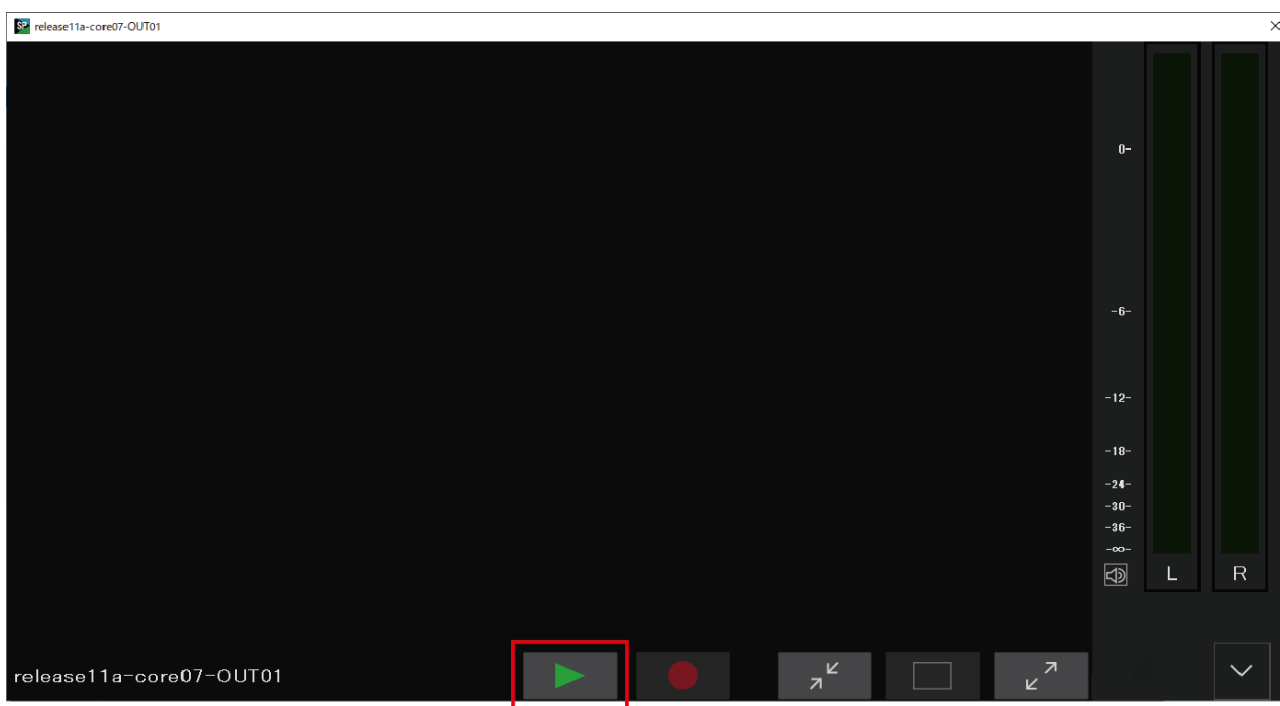
1. Stream Listから再生したいストリームをダブルクリックする



プレーヤー画面が表示され、再生待機状態になります。



2. プレーヤー画面の  をクリックする



選択したストリームの再生が始まります。



> [目次へ戻る](#)

プレーヤー画面について

ストリームの再生や記録を行う画面です。



1. ストリーム名

KAIROS クラウドプラットフォームで設定されたストリーム名を表示します。

2. ストリームの情報表示欄

Name : ニックネームを表示します。
Type : タイプを表示します。
Model : 型番を表示します。
Operator : ストリームのオペレーター名を表示します。
Stream ID : ストリームのIDを表示します。
Stream Info. : ストリームの解像度やフレームレートを表示します。

- Type、Model、Operator、Stream ID は、KAIROS クラウドプラットフォームの [STREAM HUB] で設定された内容に基づき表示されます。

詳しくは、KAIROSクラウドプラットフォームの操作説明書を参照してください。


https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_kairos-cloud_support_download

3. ウィンドウクローズボタン




プレーヤー画面を閉じます。

4. オーディオレベルメーター

ストリームのオーディオレベルを表示します。

オーディオON/OFFボタン  でオーディオ出力のON/OFFを切り替えることができます。

5. 操作ボタン

-  : 再生開始
-  : 再生停止
-  : MOV 記録開始/停止

- 記録開始前に、動作設定画面の MOV file folder の設定で保存先を設定してください。（[動作設定画面](#)）
- 記録開始時に保存先の空き容量が500 MB 以下の場合は記録を開始できません。
- 記録中に保存先の空き容量が500 MB 以下になった場合は記録を中止します。



: ウィンドウ最小化



: 原寸大サイズ表示

- スクリーンサイズが原寸のサイズより小さい場合など、原寸大表示ができないときはグレースアウトされます。



: ウィンドウ最大化（フルスクリーン表示）

6. 情報表示欄の表示/非表示ボタン

ストリームの情報表示欄の表示/非表示を切り替えます。

7. パラメーター設定部

〔Latency〕で再生までの遅延時間、〔Buffer Count〕でバッファ数を設定します。

Latency : 整数値を設定 (0~1000、初期値 : 120)

Video : 整数値を設定 (35~100、初期値 : 35)

Audio : 整数値を設定 (25~100、初期値 : 25)

• 注意点

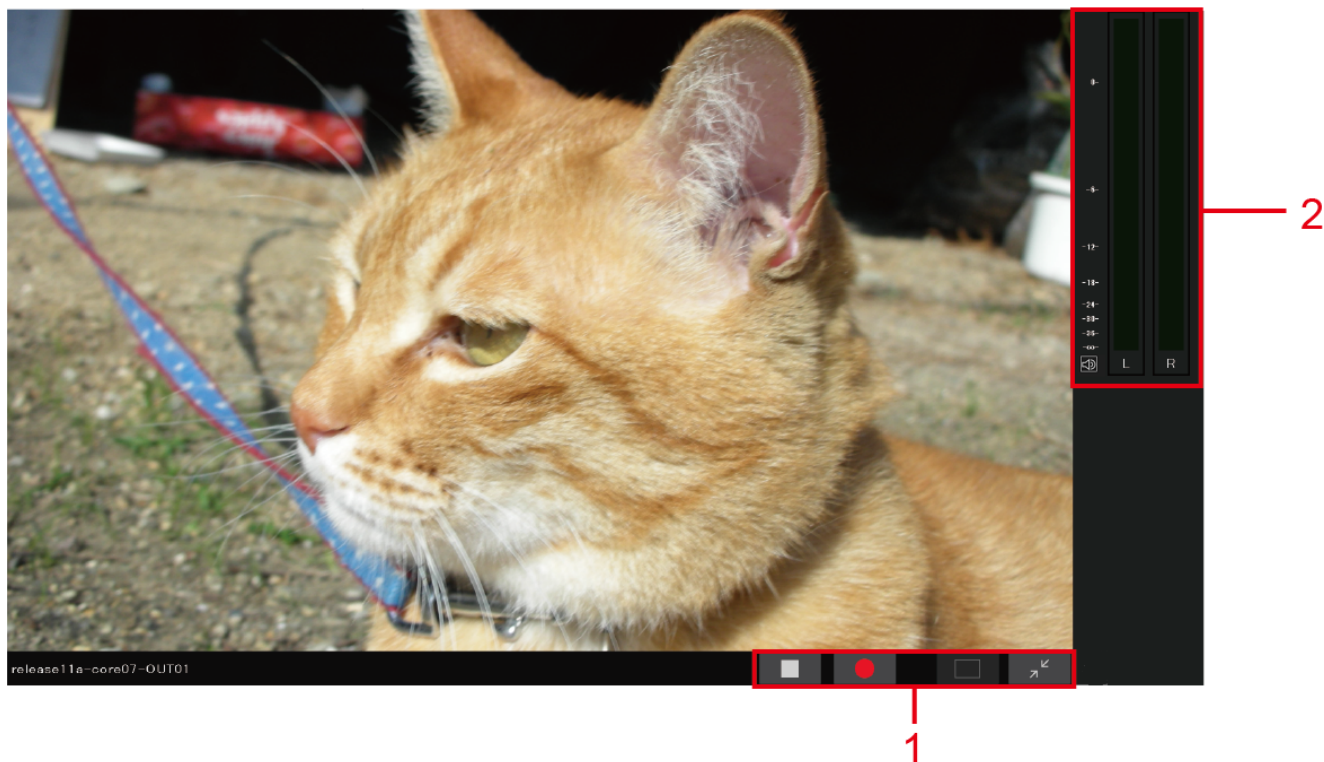
- プレーヤー画面に表示されているストリームに対してのみ適用されます。
再生中のストリームに対して設定を変更した場合は再生中には反映されず、一度停止して、再度再生を開始したときに設定が反映されます。
- ここで設定を変更すると、[動作設定画面](#)の設定値は反映されなくなりますのでご注意ください。

お知らせ

- ストリーム再生中に別のストリーム再生を開始すると、プレーヤー画面が追加表示されます。
- プレーヤー画面は20画面まで表示できます。表示位置はアプリケーションで記憶します。お使いのパソコンの性能により、ストリームの再生が正常に行えない場合があります。
- 新規プレーヤー画面の表示サイズは、映像を原寸大で表示できるサイズになります。
プレーヤー画面がスクリーンサイズより大きくなってしまった場合は、映像表示部の横サイズがディスプレイ横解像度の60%となるサイズでプレーヤー画面を表示します。






フルスクリーン表示

プレーヤー画面をフルスクリーン表示にできます。フルスクリーン表示を行うことができるのは1つのプレーヤー表示だけです。




マウスのカーソルを画面下部に移動させると、GUIメニューが表示されます。表示されるメニューは次のとおりです。

1. 操作ボタン

-  : 再生開始
-  : 再生停止
-  : MOV記録開始/停止
 - 記録開始前に、MOV file folder で保存先を設定してください。（[動作設定画面](#)）
 - 記録開始時に保存先の空き容量が500 MB以下の場合は記録を開始できません。
 - 記録中に保存先の空き容量が500 MB以下になった場合は記録を中止します。
-  : 原寸大サイズ表示
 - フルスクリーン表示時は使用できません。
-  : ウィンドウ表示に戻す（ESCキー押下でもウィンドウ表示に戻ります。）

2. オーディオレベルメーター

ストリームのオーディオレベルを表示します。

オーディオON/OFFボタン  でオーディオ出力のON/OFFを切り替えることができます。

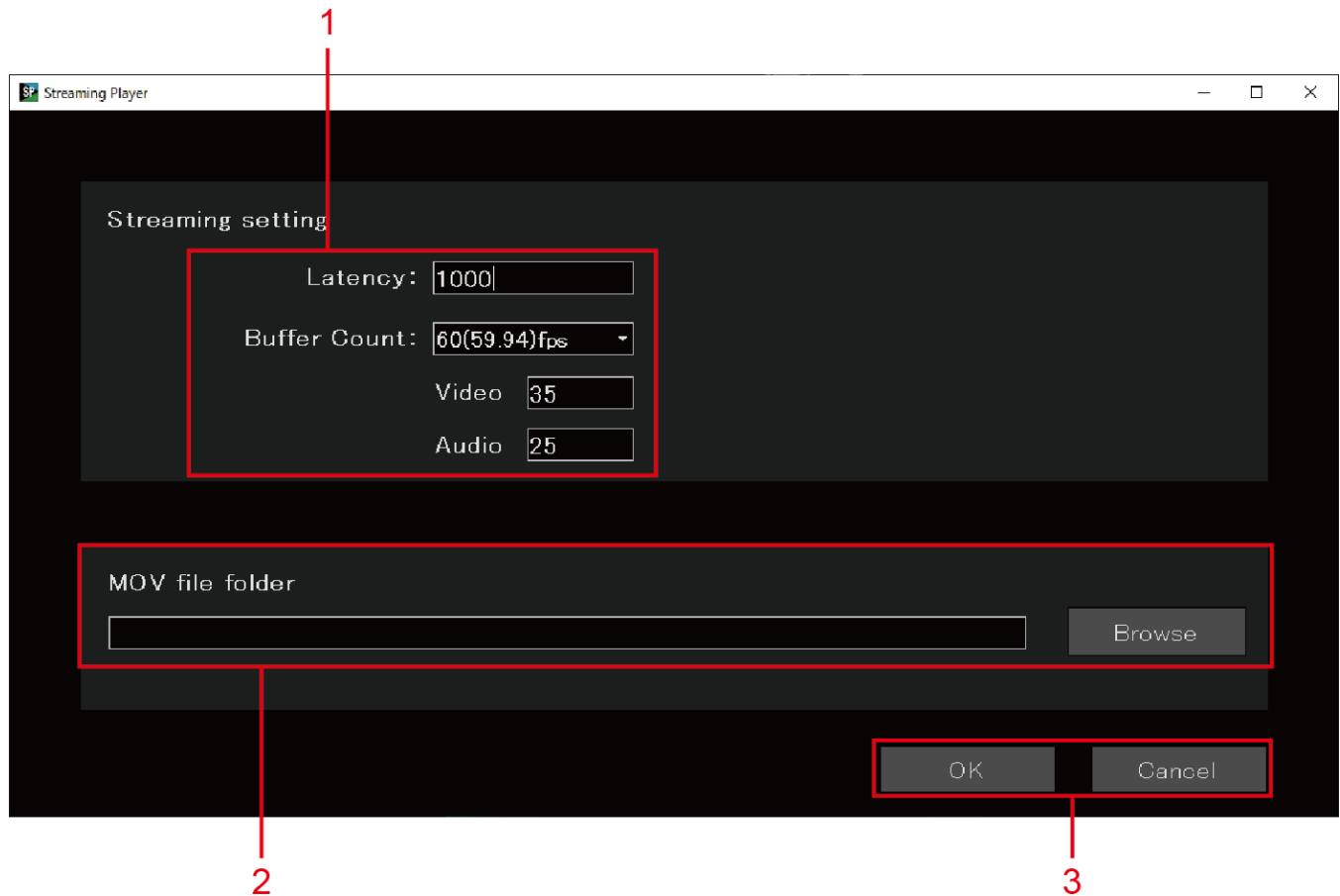
お知らせ

- フルスクリーン表示中にマウス操作が2秒以上行われないとマウスカーソルは非表示になります。

[目次へ戻る](#)

動作設定画面について

ストリームに対する遅延時間やバッファの設定、MOVファイルの保存先を設定します。



1. ストリーム再生時のパラメーター設定

【Latency】で再生までの遅延時間、【Buffer Count】でバッファ数を設定します。

- Latency : 整数値を設定 (0~1000、初期値 : 120)
ストリーム再生に 0 ミリ秒~ 1000 ミリ秒の遅延を追加できます。
遅延を長く設定すると、リアルタイム性が低下する一方で、パケットを一時的にバッファリングして転送中に失われたパケットの再受信ができるなど、再生品質を向上できる場合があります。
- Buffer Count : ストリームのフレームレートごとに Video と Audio のバッファ数を設定
— Buffer Count : ストリームのフレームレートを設定 (選択可能な値 : 60(59.94)fps、50fps、30(29.97)fps、25fps、24(23.98)fps、OTHERS)
— Video : 整数値を設定 (35~100、初期値 : 35)
— Audio : 整数値を設定 (25~100、初期値 : 25)
Video、Audio の設定により、ストリームのデータを一時的に保管するバッファ数を指定できます。
Buffer Count で選択した各フレームレートごとに設定が可能です。
ネットワークの回線品質が悪い場合や、Latency の設定で遅延を大きくした場合などに調整していただくことで、再生品質を向上できる場合があります。
- 注意点
 - ストリームの再生中に設定を変更した場合は、ストリーミング再生を一度停止したあとに再生をやり直してください。

2. MOV file folder

- ストリーミング中にMOV保存するときの保存先を設定します。(初期値 : 空白)

3. [OK] / [Cancel] ボタン

- [OK] をクリックすると、設定を反映して、メイン画面に戻ります。（[メイン画面](#)）
- [Cancel] をクリックすると、変更を取り消してメイン画面に戻ります。

➤ [目次へ戻る](#)